

さわってい 埼玉

第25回総会・講演会を4年ぶりに実開催 駐日タイ王国大使館公使参事官講演



▲総会の様子

去る7月10日(月)、埼玉・タイ王国友好協会の第25回総会・講演会が川越プリンスホテルで開催され、当日は会員等約70名の出席がありました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、ここ数年は書面開催としておりましたが、今回は4年ぶりの実開催となりました。2022年度事業報告および収支報告、2023年度事業計画(案)および収支予算(案)、役員改選(案)が上程され、いずれも全会一致で承認されました。

2022年度事業報告では、日タイ修好135周年記念事業として実施したチェンライ県のパクワン幼小中学校への施設改修支援のほか、人材育成支援として実施している大学生や高校生への奨学支援資金授与などについて報告しました。

また、2023年度事業計画では、人材育成支援として、引き続き大学生や高校生への奨学支援資金授与を行うことや今後のニーズを調査し、支援事業を検討していくことが承認されました。



▲総会で挨拶をする原会長



▲懇親会場にてロムデジ公使参事官と原会長

総会後には、駐日タイ王国大使館のロムデジ・ピサラポン公使参事官に「タイ経済の最新情報と日本企業への期待」と題してご講演いただきました。(2面参照)

総会・講演会終了後の懇親会では、タイ王国大使館の皆様にもご参加いただき、タイの料理やビールを召し上がったいただきながら、協会会員の皆様方と懇親を深められました。また、会の途中では当協会会員の埼玉県在住タイ人クラブの皆様にご披露いただきました。皆様のおかげをもちまして、盛会のうちに総会を終えることができました。



▲埼玉県在住タイ人クラブの皆さまによるタイ舞踊



▲懇親会で挨拶をする山口顧問

会長挨拶



会長
原 敏成

本日は大変お忙しいところ埼玉・タイ王国友好協会の総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、当協会の事業活動への皆様のご理解・ご支援に対しまして厚く御礼申し上げます。当協会の総会は新型コロナウイルスの影響を受け、しばらく書面開催とさせていただいておりましたが、本日は4年ぶりにこうして皆さまにお会いできましたこと、また、タイ王国大使館の皆さまにもご臨席いただけますことを、大変嬉しく思います。

昨年度は、日タイ修好135周年記念事業として、チェンライ県パクワン幼小中学校の構内施設を対象に、老朽化したトイレや調理場といった施設の改修工事の支援を実施しました。今後も支援のニーズ調査を実施しながら、当協会として何ができるか検討し、実行してまいります。ごぞいませ。

また、タイ王国大使館の皆さまには日頃より当協会に對しまして特別なご配慮をいただき、誠にありがとうございます。今回はシントン・ラーピセートパン大使閣下がご公務につきご臨席が叶いませんでしたが、公使参事官のロムデジ・ピサラポン様より貴重なご講演をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

結びに、皆様方の常日頃のご支援・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、埼玉県とタイ王国の友好関係が今後ますます進展しますよう、あらためてご支援、ご協力を賜りたく、よろしく御願ひ申し上げます。

「タイ経済の最新情報と日本企業への期待」

(抜粋)



▲講演する駐日タイ王国大使館公使参事官ロムデジ・ピサラポン様

本日は、埼玉・タイ王国友好協会が4年ぶりに総会を開催するにあたり、講演にお招きいただき、またこのように皆様にお話する機会をいただきまして大変嬉しく存じます。ありがとうございます。

世界的な新型コロナウイルス感染症の状況がようやく落ち着き、日タイ両国間の様々な交流も再開し始めました。両国の関係は変わらず強固であり、昨年11月にバンコクで行われたAPEC首脳会議では、両首相が日タイ関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げすると発表しました。両国の関係は、さらに緊密なレベルに展開していると言えるでしょう。

本日の講演は「新たな時代におけるタイと日本の持続可能な協力に向けて」タイ経済の最新情報と日本企業への期待」と題します。まずは、現在のタイ王国の経済情報について説明させていただきます。

2023年第1四半期の経済情勢と今後の見通し

タイの今年第1四半期のGDP成長率は2.7%で、昨年第4四半期の1.4%に比べて増加しています。これは民間消費の拡大、民間投資と公共投資の継続的な拡大、それに観光業の回復が主な理由です。雇用については、失業率はおおよそ1%で、低いレベルにあります。貿易黒字は29億米ドルで、輸出は機械やトラック、電子機器、電化製品の分野の割合が多く、主な輸出相手国はアメリカ、中国、日本です。一方、主要な輸入相手国は中国、日本、アメリカです。観光収入は約14億ドルで前期に比べて34%増加しました。これはコロナの制限措置の撤廃や政府の観光支援策のおかげだと考えられます。

今年の経済成長率は、観光産業の回復、国内需要の拡大、農産物生産の増加により、昨年より回復し、経済成長率は2.7%と3.7%となる見通しです。

日タイ経済関係の展開

ご存じかと思いますが、1980年代からタイの製造業を強化するため、タイ東部にあるイースタンシーボード工業団地を一緒に開発した時より、日本はタイの重要な経済パートナーになっています。日本は今でもタイにとって最大の投資国で、現在タイに登録した企業が1万5千社以上、実際に営業している企業が7,500社あります。外国直接投資額はタイ全体

投資額の3分の1を占めています。最初に申し上げたように、昨年の11月にバンコクで行われたAPEC首脳会議では両首相が日タイ関係を「包括的戦略的パートナーシップ」に格上げすると発表しました。そしてこの機会に、日本とタイは「戦略的経済連携5か年計画」を策定しました。同計画は気候変動やエネルギー、少子高齢化社会等、様々な挑戦がある時代の中で両国が直面している課題を解決することを目的として、人材開発、規制改革、イノベーション、BCG経済モデル、インフラにおいて協力関係を重要視しています。

タイは持続性と環境への配慮を考慮し、技術イノベーションによる国家開発と人材育成を向上させようとしています。最近になって多くの企業が誕生し、そのために日本企業との生産パートナーシップを期待しています。

BCG経済政策

その持続可能な経済発展を実現するためにBCG政策(BIO-CIRCULAR-GREENの略)を制定し、これは6年後にタイのGDPの24%にあたる4兆バートの経済効果をもたらすと予想されています。BCGは日本のカーボンニュートラルとグリーン成長戦略にも合致します。タイ政府は日本に民間企業からのBCG関連分野への投資を期待しており、日本企業に対しても、日本の様々なセクターで行っている脱炭素社会を目指したビジネスの延長線にもなります。

東部経済回廊(EEC)

2017年、タイ政府は東部経済回廊地域を打ち出し、タイ東部3県をまたぐ経済特区を作りまし

た。
EECのミッションは以下のとおりです。

1. 地域を主体とした持続可能な開発
2. 総合的なインフラとコネクティブイティ
3. 先端技術とイノベーションの推進

EECへの日本からの投資として、昨年1月〜10月の投資総額を取得した日本の投資総額はほぼ1,150億円で、前の年の95億円より増加しています。主に自動車、石油化学製品、バイオ燃料、スマート・エレクトロニクス産業への投資です。BOI投資恩恵に関心のある方はBOI投資委員会へお問い合わせください。

最後に、経済関係から少し離れて、日タイの国民同士の草の根の交流についてご紹介します。今年5月から6月にかけて、毎週タイ関連のイベントが開催されてきました。東京や大阪などの大都市圏だけでなく、全国各地でタイのイベントが開催されていて、タイ王国大使館として大変嬉しく思っております。タイと日本が国民レベルで大変親密な関係にあり、日本の方がタイとの交流を楽しんでくださっていることが分かります。

埼玉県は日タイ関係にとって特別な県です。埼玉県庁、川越市、埼玉・タイ王国友好協会、そして埼玉県在住タイ人クラブのおかげで、両国の人々の心を結ぶ多様な活動や協力が行われています。

埼玉・タイ王国友好協会には、タイの学生への奨学支援や大使館の事業への継続的な協力など、改めて感謝申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

役員紹介

総会審議の結果、次の方々役員に就任されました。(敬称略)

▽顧問

山口 泰明 元衆議院議員

土屋 品子 衆議院議員

▽会長

原 敏成 代表取締役社長

武州ガス(株)

▽副会長

吉野 寛治 代表幹事

池田 一義 代表取締役会長

埼玉県商工会議所連合会 会長

利根 忠博

埼玉県経営者協会 名誉会長

▽幹事

長谷川 隆二(新任)

本田技研工業(株)埼玉製作所

生産本部 生産業務部長

藤池 誠治

(株)デサン 代表取締役会長

長尾 美津子

ガールスカウト埼玉県連盟

小嶋 一晃

(株)テレビ埼玉 常勤監査役

島村 健

(株)島村工業 代表取締役社長

細沼 直泰

日本伸管(株) 代表取締役社長

▽監事

高月 美彦

(株)丸九百貨店 執行役員総務人事部長

関根 勇治

初雁興業(株) 代表取締役社長

▽退任

吉原 浩行

本田技研工業(株)埼玉製作所 生産本部 前生産業務部長

学生への奨学支援資金授与報告

当協会では2016年より学生への奨学支援資金授与を行っており、今年で8期目を迎えます。総会での決議を経て第2期支援生徒2名、第3期支援生徒2名、第4期支援生徒2名、第5期支援生徒1名、第6期支援生徒2名の計9名へ奨学支援資金を授与することが決定しました。以下に奨学支援資金授与の様子と、支援生徒の近況を報告いたします。

2023年8月、当協会会員で現地滞在者である堀田様に生徒が在籍する各校を訪問いただき、各校長や職員らの立ち会いのもと、支援決定通知書および奨学支援資金を渡していただきました。堀田様からは生徒の皆さんはコロナ禍の厳しい状況下でも一生懸命勉学に励んでいるとの報告がありました。

第2期支援生徒のチュタラットさんは今年大学4年生になり、中国語と英語を学ぶため、5か月間台湾へ留学したとのこと。将来は外国の航空会社で働きたいという夢を語ってくれました。同じく第2期支援生徒のチャニカーンさんは幼児教育学部で現在幼稚園実習を行っており、来年には教員試験を受ける予定とのこと。第3期支援生徒のシンプラパーさん、ナリッサラーさん



▲左からチャニカーンさん、ナリッサラーさん、シンプラパーさん

▲チュタラットさん

ら、来年度の奨学支援資金授与の予定について報告しました。

んの2名も、教員試験に挑戦するとの意気込みを話してくれました。第4期支援生徒のナツタン君、ヨサボン君はチャリンラット高専の5年生となり、工業団地にある会社でメンテナンス関係のアルバイトをしながら生活をしているとのこと。来年卒業のため、各々進路を検討中です。第5期支援生徒のナムティップさんは今年国立ラチャパット大学の家政学部へ見事合格し、大学生となりました。ナムティップさんが通う校舎は広大な土地にあり、きれいで快適とのこと。友人や先生にも恵まれ、勉強は順調に進んでいると話してくれました。6期生のパニダーさん、チャンチラーさんは現在高校3年生。来年の大学進学を目指し勉学に励んでいるそうです。当協会としても、将来生徒の皆さんが立派に成長し、子どもたちの教育や地域発展のために頑張っている姿を見られることを期待しています。



▲チャンチラーさん



▲パニダーさん



▲ナムティップさん



▲ヨサボン君



▲ナツタン君

奨学資金支援生卒業後の様子

当協会の奨学資金支援生のうち、3名が今年大学を卒業いたしました。卒業後の進路と現在の様子を伺うことができたので、報告いたします。

第1期生のノップラダーさんは5月に国立ラチャパット大学を卒業し、同年6月に教員試験を受験するも、残念ながら結果は不合格でした。現在はタイ南部のストラタ二県で姉の店の手伝いをしながら、次回の試験に向けて頑張っているとのこと。ぜひ諦めず、教師になる夢を叶えてほしいと思います。



▲姉の店を手伝うノップラダーさん

同じく第1期生のシリヤーさんは5月に国立ラチャパット大学を卒業し、6月に物流会社「J&T EXPRESS」に正規社員として採用され、働き始めています。新しい環境でまだ慣れないことも多いかと思いますが、職場を訪問すると明るい表情を見せてくれました。



▲職場でのシリヤーさんの様子

第5期生のアンパンさんは大学2年の頃から支援を開始し、5月に国立ラチャパット大学を卒業しました。在学中はアルバイトと学業の両立に苦労したとのこと。それでも卒業後、チェンマイ市内に新たに開店した日本食専門店にお店に就職しました。



▲日本食専門店で働くアンパンさん

3名とも学生時代に学んだことを大いに活かして、これから社会の役に立つ立派な人になってもらいたいと思います。

タイフェスティバル東京2023

タイ王国大使館とジーユークリエイティブが主催する「タイフェスティバル2023」が2023年5月20日(土)、5月21日(日)の両日、東京・代々木公園イベント広場で開催されました。ここ数年はコロナ禍によって中止やオンライン開催となっておりましたが、今年は2日間にわたり盛大に実開催されました。



▲会場の様子

「タイフェスティバル」は2000年に「タイ・フードフェスティバル」として開催され、タイ関連で日本国内最大級の食・文化イベントに成長しました。当協会の原会長も大使館より開会式へ招待を受け、事務局とともに出席しました。

開会式ではシントン・ラーピセートパン駐日タイ王国特命全権大使がご挨拶をされ、日本側からは外務省アジア大洋州局岩本桂一番議官外がご臨席されました。原会長はシントン・ラーピセートパン駐日タイ王国特命全権大使と面会し、交流を深めました。



▲(左より)シントン・ラーピセートパン駐日タイ王国特命全権大使、原会長

また、会場内はタイの料理や文化を紹介したお馴染みの人気ブースに加え、メインステージでは1日中タイのアーティストや格闘家によるパフォーマンスが行われ、大変な盛り上がりを見せていました。

タイ王国旧お正月 水かけ祭りに参加



▲水かけまつり集合写真

2023年6月4日(日)、川越市名細市民センターにて「タイ王国旧お正月 水かけ祭り」が開催されました。当協会の原会長は水かけ祭り主催の埼玉県在住タイ人クラブより開会式への招待を受け、出席しました。水かけ祭り(ソンクラーン)は、4月の旧正月に行われるタイを代表する伝統的なイベントです。この祭りでは人々は

尊敬の意を込めて両親や祖父母の両手に水を注ぎ、また贈り物をするなどして敬意を示します。

当日は民族舞踊やタイ・ミュージックが披露され、美味しいタイ料理も提供されるなど、大変盛り上がり、タイの文化を肌で感じることができました。



▲参加者から水を注がれる原会長

タイ王国ホストタウン企画川越市から情報発信中!

川越市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、タイ王国のホストタウンになりました。大会前から大会開催中まで、タイ王国と様々な文化・スポーツ交流を行ってまいりましたが、大会後もホストタウンとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー(遺産)を活かしていきます。

この度、埼玉県在住タイ人クラブの皆様と協力して、タイの文化やグルメを紹介し、親しんでいただくために作成された動画コンテンツの第二弾がYouTubeにアップされています。今後も引き続き情報発信をしていくとのことでしたので、ぜひ楽しみにお待ちください。



第2弾



▲川越市ホームページ

「タイ王国ホストタウン企画「タイの文化を学びタイ!」」

ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の3名です(年間1人14,400円で3年間)。

ダルニー奨学金は、経済的貧困のため、教育の機会に恵まれないタイ・ラオス・ベトナムなどの子どもたちの中学生就学を支援する国際教育里親システムです。



スターシニー・ピットペン

将来の夢: 教師
ひとこと: 皆様へ感謝し、一生懸命勉強します。



ポンププラパー・シッティポン

将来の夢: 教師
ひとこと: ご支援に感謝し、勉強に集中します。



タナンチャイ・トゥリーラット

将来の夢: 警察官
ひとこと: ご支援と奨学金に感謝します。

埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118
(武州ガス(株)内)

編集後記

大学を卒業された奨学金資金支援生の皆様の活躍を期待します。

(T)

来年は協会設立から25年、この間、タイ王国の目覚ましい発展が感じられます。

(O)